

Close up

だて



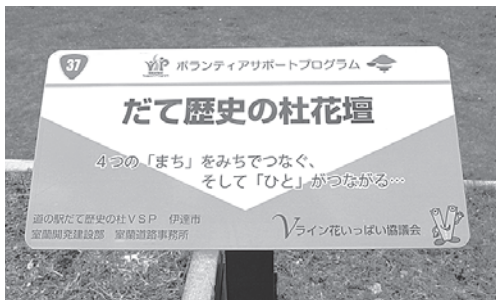
植花の前の花壇整備をする沖山代表(左から2人目)とVSPメンバー

— 無機質な道路に
プライスレスな空間を —
道の駅だて歴史の杜VSP



整備した花壇に花を植える高校生

VSP（ボランティアアサリートプログラム）という取り組みをご存じですか？
この取り組みは、国土交通省が推奨する全国的な事業で、国道沿線の地域住民やボランティア団体企業などが行政と一体で道路の美化清掃に努め、より良い道路環境を作ろうというものです。
市内を通る国道37号にも、4団体が活動し、その中に移転オープン以来多くの観光客で賑わう観光物産館を中心に活動する「道の駅だて歴史の杜VSP」という団体があります。
平成19年2月に市内の企業や学校などが中心になって合計147名の会員で結成され、市民の皆さんが観光物産館や黎明観前を通った時に心を和ませてくれている花壇は、この団体が担当しています。



だて歴史の杜入口に設置してあるこの看板、ご覧になったことはありませんか？

市が毎年5月に主催する伊達市緑化キャンペーンの一環、「だて緑と花のまつり」の活動にも積極的に参加しています。
「道の駅だて歴史の杜VSP」代表の沖山典嗣さんは、「自分の仕事の一部としてこの活動に参加していました、多くの方々と一緒に進めていくうちに専門的見地からではなく、素人が作る花壇、素人が行う緑化というもの大変さと同時に面白さを学びました」と話してくれました。
今後は「利用者に彩りと香りと柔らかさを届けられるよう、また、手入れが行き届かず評価が下がらないようにという2点を目標に、緑の道をつなげ続けて行きたいです」と熱く語ってくれました。
「市民や国道37号を通るドライバーの心に潤いと安らぎを与える活動」夢があって素敵ですね。

として保存しましょう

だて

発行・編集 伊達市企画財政部企画課
☎ 0142-23-3331 内線238・239
FAX 0142-23-4414
✉ kouhou@city.date.hokkaido.jp
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

楽
画
記

■4月の異動から早くも1ヵ月。周りの皆さんのおかげで何とか日々を過ごさせていただいています。ホームページや広報紙に苦戦しつつ、今最も気になっているのが「桜が終わったあとのフォトピックスのネタ」です。季節の移り変わりやほっとする日常の1コマの情報などお寄せください。切実です！（と）
■ホームページのフォトピックスはご覧いただけましたか？市内の様子を紹介できる媒体が増え、それに伴い取材に出る数も増えたのですが…4月の異動でやって来た（と）さんの動きの素早いこと！「〇〇に行きます」と言うや否やすでにその姿なし。このフットワークの軽さは見習わなければ！（や）
■ホームページ公開から2ヵ月経過…でも公開前の慌ただしい“バタバタ”感が…少しでも多くの方に喜んでもらえるようなホームページを目指し改善に取り組むうちに仕事量が増えたのは确实！でも↑の（や）さんがコメントしたように（と）さんのスピードに圧倒されっぱなし。一応私は上司です！（じ）